



学校だより 第5号

令和元年6月13日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明



作成したレポートを発表し合うグループ学習の様子（生徒同士で積極的に関わり合い学び合う活動を実践的に取り入れています。）

学級、また、学年の中で、「いじめ」があるようでは、生徒は学習に集中することはできません。本校では、いじめは決して許さないという姿勢で、「いじめ」はないか、「いじめ」の兆候はないかと、注意深く生徒の様子を見守るとともに、定期的に教職員間の情報交換を行っています。そして、何かあれば、解決に向け、全教職員で対処する体制を整えています。生徒も、この六月を、学級のよい雰囲気づくり、つまり互いを思いやり、高め合う雰囲気づくりを進める月として、皆で学級の現状について考え、一人一人が小さな改善を進めるよう努めているところです。保護者の皆様も、ぜひこの機会に、お子様の学級や友人関係のこと、そして、教職員の指導のことなどを、お子様との会話の中で話題にしていただきたいと思います。そして、何か気になるようなことがありましたら、遠慮せず担任やスクールカウンセラー等に御連絡、御相談ください。

電話番号 (三三二七) 二一一〇

●学校が、いじめや不登校、その他問題行動の状況について総点検を行い、問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取組を行うこと
●こうした取組を充実させていく上で、何よりも重要である教員等による指導の状況についても把握する機会とすること

新宿区では全小・中学校において、六月、十一月、二月を「ふれあい月間」と位置付け、児童・生徒の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会としています。「ふれあい月間」の目的は次の二点です。

六月は「ふれあい月間」です
生徒の友人関係や教員の指導を見直していききます

校長 佐藤 浩

6月15日(土)に運動会を行います 生徒主体の運動会をぜひ御覧ください！



(6月11日、予行練習の反省を行う市村先生と実行委員の生徒たち)

本校の運動会は、生徒が中心となって運営するという特色があり、このスタイルが本校の伝統となっています。実行委員・係の生徒、そして競技に参加する生徒が、各自の役割を理解し、責任を果たしていくことによって、初めてそれぞれが主役となり、感動を呼び起こす運動会とすることができます。生徒たちには、練習の成果を存分に発揮し、自らの力で運動会を創り上げてくれることを期待しています。保護者の皆様にも、生徒のはつらつとした姿をご覧いただき存分に楽しんでいただきたいと思います。応援をよろしくお願いします。

1年生が「女神湖移動教室」に行ってきました

5月27日から29日までの2泊3日で、1年生が女神湖移動教室に行ってきました。宿泊行事における集団行動を通して、規則正しい安全な生活を送ること、互いの理解を深め相手を思いやる心を育むこと、良い集団をつくるために自分ができることに積極的に取り組む力を身に付けること、そして、豊かな自然に触れ、命の尊さを知り、自分や周りの人達を大切に思う心を育むことを目的として、生徒は食事や入浴等、学園の生活を送りながら、様々な体験活動に取り組んできました。

○5月27日（月）午後：鷹山ファミリー牧場での畜産体験



牧場到着後、屋内バーベキューで、地元で愛情をもって育てられた美味しいお米や野菜、お肉を堪能しました。その後、牧場の方の講話（食べること、働くこと、環境を生かすこと）を聞き、牛の乳しぼり、牛のブラッシング、羊の散歩などを体験しました。



生徒たちは、これらの体験を通して、動物を相手に働くことの厳しさと尊さ、食べるということとは命をいただくということであり、様々な命と一生懸命に育ててくださった方々への感謝の気持ちをもって残さず食べることが大切であることなどを学びました。

○5月28日（火）午前：車山ハイキング



リフトに乗り、車山山頂に行きました。山頂は突風が吹き荒れ、とても寒く、山頂からの美しい景色を楽しむゆとりはありませんでした。その後、大粒の雨が降り始めたことから、急きょ予定を変更し、車山肩まで下り、バスで学園に戻りました。



○5月28日（火）午後：学園内でのレクリエーション

予定していた八島湿原ガイドウォークが中止となり、高山植物や八島湿原における食物連鎖等について、実際に学ぶことが叶わず、残念でした。急きょ学園においてレクリエーションを行うことになりました。急なことにも関わらず、レクリエーション係が全体をリードして上手に取り組んでくれたおかげで、皆で盛り上がり楽しむことができました。団結力が高まりました。



○5月29日（水）午前：うちわづくり体験



「立岩和紙の里」で、300年の伝統をもつ立岩和紙のうちわづくり体験を行いました。最初に、紙すきワクに楮(コヅ)の原料を流し込み、前後左右に動かし、ちょうどよい厚さの紙にすきあげました。その後、専用のペンを使って赤・青・黄・緑・茶に着色した和紙繊維の絵付けをしました。各生徒の個性を表すユニークな絵がたくさん見られました。



大成功！ 生徒一人一人が大きく成長して帰ってきました

学園生活では、食事や就寝の準備にかかる時間が徐々に短くなったり、朝礼（特にラジオ体操）の取組やまとめ学習の取組の緊張感が徐々に高まったりするなど、全体的に、先を読み、周りを意識して行動しようとする姿勢が見られるようになりました。各体験活動では、目的意識をもってしっかりと学ぶことができました。この3日間で学年集団としての課題を見つけることができましたが、一人一人の生徒が大きく伸びるとともに、互いに理解を深めることもできました。また、集団としても確実に成長することができました。移動教室の目的をしっかりと達成し、とても充実した3日間となりました。今後の更なる成長、活躍を大いに期待します。